

当院におけるHDF治療について

松江腎クリニック
草刈万寿夫

治療方法別患者数 (2005年2月1日現在)

● 前希釈		: 56名
当院治療歴6か月以上		
無尿・ほぼ無尿		: 37名
体重の1%以上の尿量		: 13名
当院治療歴6か月未満		: 6名
● 後希釈		: 3名
● AFBF+前希釈		: 1名
	計	: 60名

前希釈・当院治療歴6か月以上，無尿患者 背景 (n=37)

	範囲	平均	標準偏差
年齢(y)	26.0-85.0	57.7	11.6
透析歴(y)	1.6-30.9	11.2	7.8
当院治療歴(y)	0.6-3.8	2.4	1.1
DW(kg)	32.4-72.0	54.9	9.8
男／女	21／16		
DM患者	8		

前希釈・当院治療歴6か月以上，無尿患者 治療設定 (n=37)

	範囲	平均	標準偏差
治療時間 (hr)	3.5-5	4.2	0.43
血液流量 (ml/min)	200-450	303	60.0
QB/DW (ml/min/kg)	3.7-8.0	5.6	1.0
総処理血液量 (L)	37.8-121.5	77.7	18.6
血液量/DW (L/kg)	1.0-2.1	1.42	0.28
希釈液流量 (L/hr)	12-18	14.4	1.6
総希釈液量	42-80	61.0	9.4
総透析液量	105-210	166	25.5
HFK面積	1.5-2.5	2.1	0.15

前希釈・当院治療歴6か月以上、無尿患者 臨床検査データ (n=37)

	範囲	平均	標準偏差
BUN前	45.5-97.1	69.1	11.96
BUN後	7.6-25.5	15.6	4.31
Kt/V for BUN = $-\ln(\text{前}/\text{後})$	1.14-1.83	1.51	0.17
Cr 前	6.75-16.87	11.82	2.00
Cr 後	2.35-4.77	3.39	0.57
IP 前	3.7-7.9	5.82	0.96
IP 後	1.3-3.0	2.1	0.34
β 2MG 前	18-40.9	26.95	5.46

前希釈・当院治療歴6か月以上，尿量有り 背景 (n=13)

	範囲	平均	標準偏差
年齢(y)	39.8-80.0	62.03	13.71
透析歴(y)	0.7-6.9	3.12	1.85
当院治療歴(y)	0.5-3.6	1.88	1.04
DW(kg)	44.0-67.3	57.37	7.38
男／女	6／7		
DM患者	2		

前希釈・当院治療歴6か月以上，尿量有り 治療設定 (n=13)

	範囲	平均	標準偏差
治療時間(hrs)	3.0-4.0	3.6	0.32
血液流量(ml/min)	240-400	323	61.82
QB/DW(ml/min/kg)	3.6-7.7	5.70	1.11
総血液量(L)	46.8-108	71.2	17.77
血液量/DW(L/kg)	0.80-1.84	1.25	0.30
希釈液流量(L/hr)	9-18	13.6	2.33
総希釈液量	36-60	49.1	7.03
総透析液量	117-168	139.4	18.19
HFK面積	2.1-2.5	2.1	0.11

前希釈・当院治療歴6か月以上, 尿量有り 臨床検査データ (n=13)

	範囲	平均	標準偏差
BUN前	55-102	69.4	12.86
BUN後	11.8-23.3	17.8	3.16
Kt/V for BUN = $-\ln(\text{後}/\text{前})$	1.18-1.54	1.36	0.11
Cr 前	7.97-12.92	10.2	1.44
Cr 後	2.43-4.48	3.3	0.50
IP 前	4.3-7.4	5.6	0.98
IP 後	1.7-2.9	2.1	0.38
β 2MG 前	14.6-34.7	22.5	5.46

後 希 釈 患者背景 (n=3)

	範圍	平均	標準偏差
年齢(y)	47.5-61.0	53.7	6.8
透析歴(y)	11.1-23.8	15.6	7.1
当院治療歴(y)	1.6-3.8	2.4	1.2
DW(kg)	47.5-61.0	53.7	6.8
男／女	3／0		
DM患者	1		

後希釈 治療設定(n=3)

	範囲	平均	標準偏差
治療時間(hrs)	4.5 (全例)		
血液流量(ml/min)	200-240	220	20
QB/DW(ml/min/kg)	3.9-4.2	4.11	0.15
総処理血液量(L)	54-64.8	59.4	5.4
血液量/DW(L/kg)	1.06-1.14	1.11	0.04
希釈液流量(L/hr)	3-4	3.7	0.58
総希釈液量	13.5-18	16.5	2.6
総透析液量	135 (全例)		
HFK面積	2.1 (全例)		

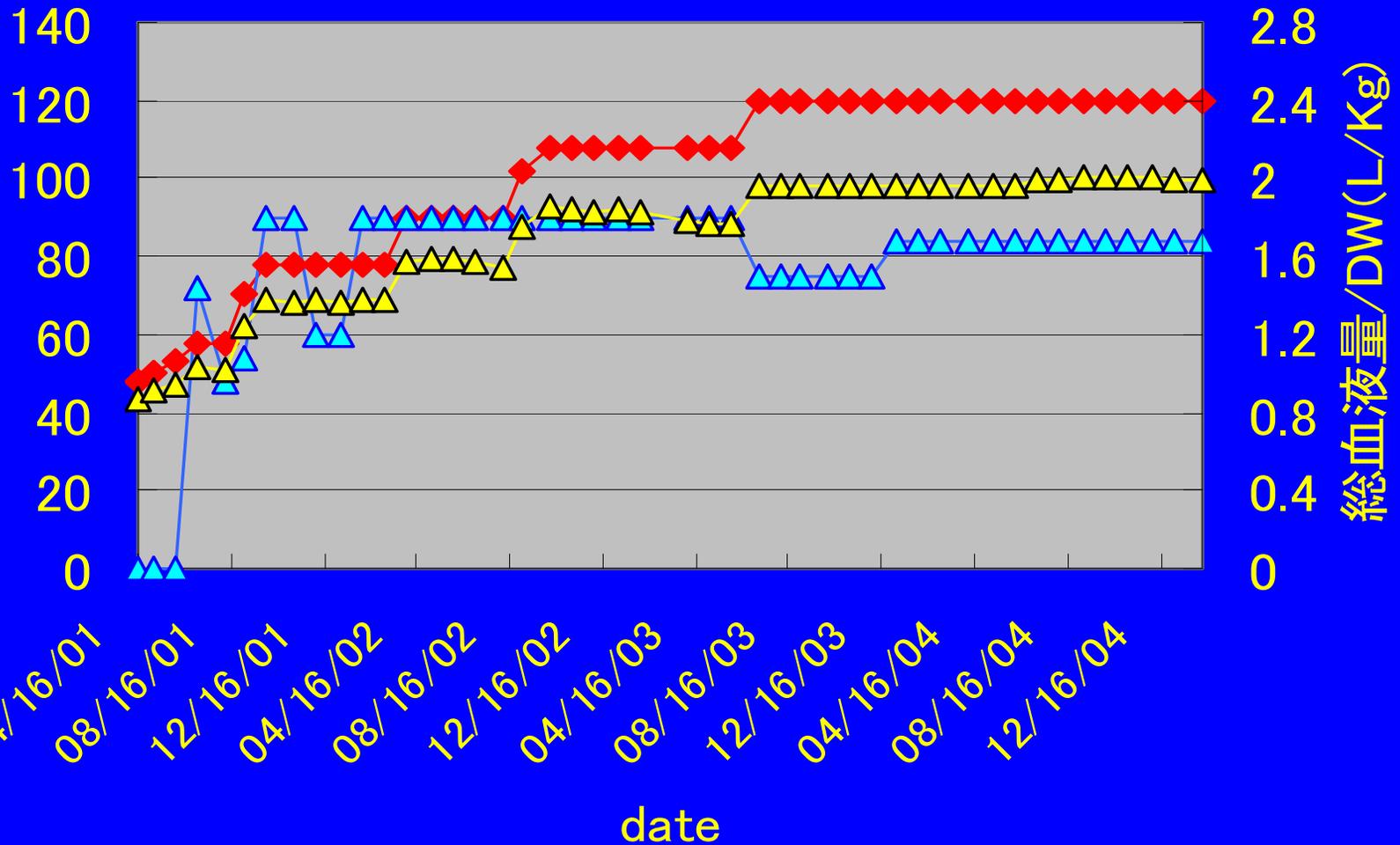
後希釈 臨床検査データ (n=3)

	範囲	平均	標準偏差
BUN前	73.5-94.4	81.2	11.46
BUN後	18-23.5	20.5	2.78
Kt/V for BUN = $-\ln(\text{後}/\text{前})$	1.33-1.41	1.38	0.04
Cr 前	9.35-13.65	12.1	2.36
Cr 後	2.9-5.2	4.2	1.17
IP 前	5.3-9.4	7.2	2.06
IP 後	2.3-3.2	2.6	0.52
β 2MG 前	17.1-24.7	21.7	4.03

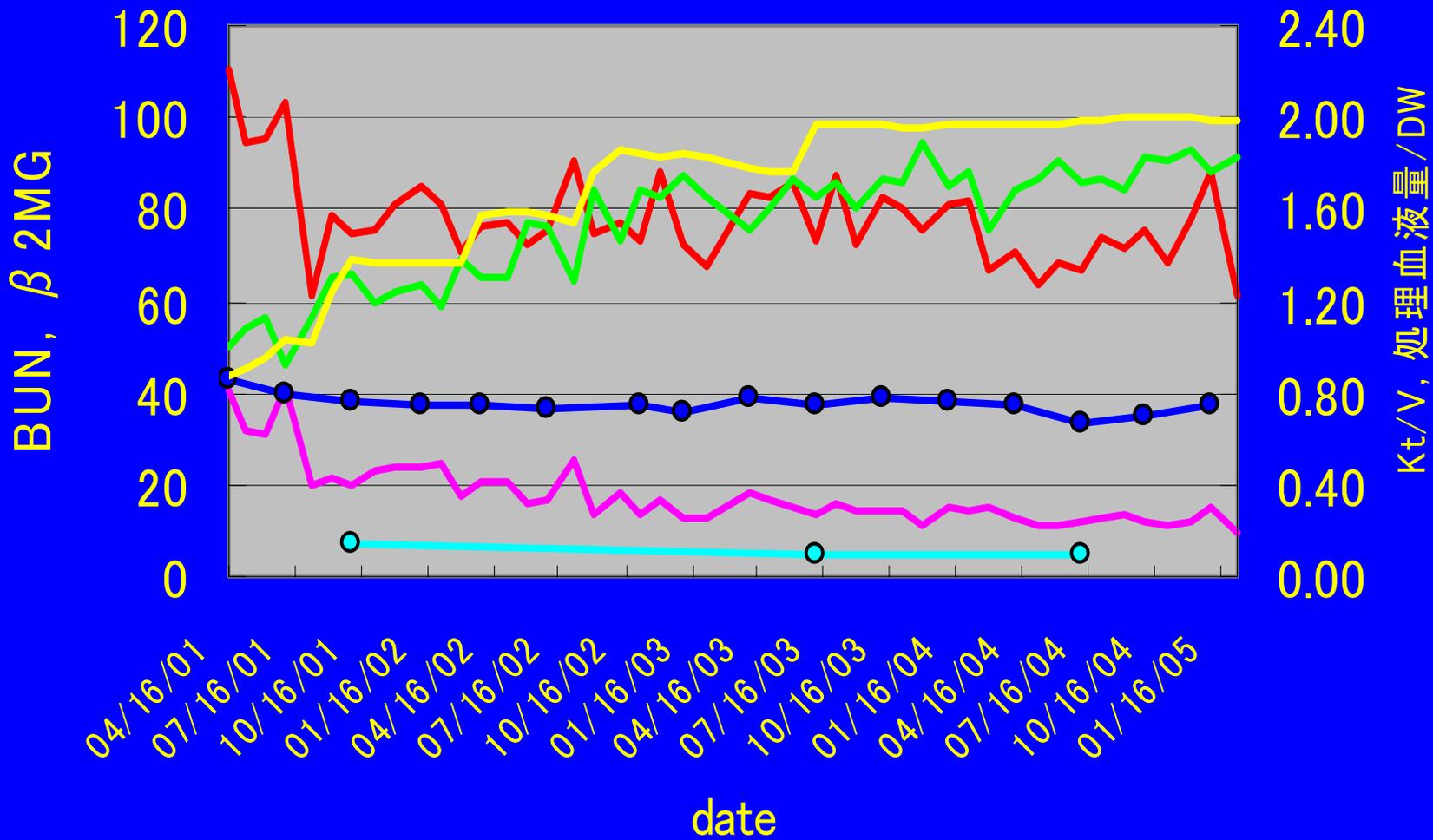
Aさんの治療設定の推移

(男性,50歳台,DW:60kg)

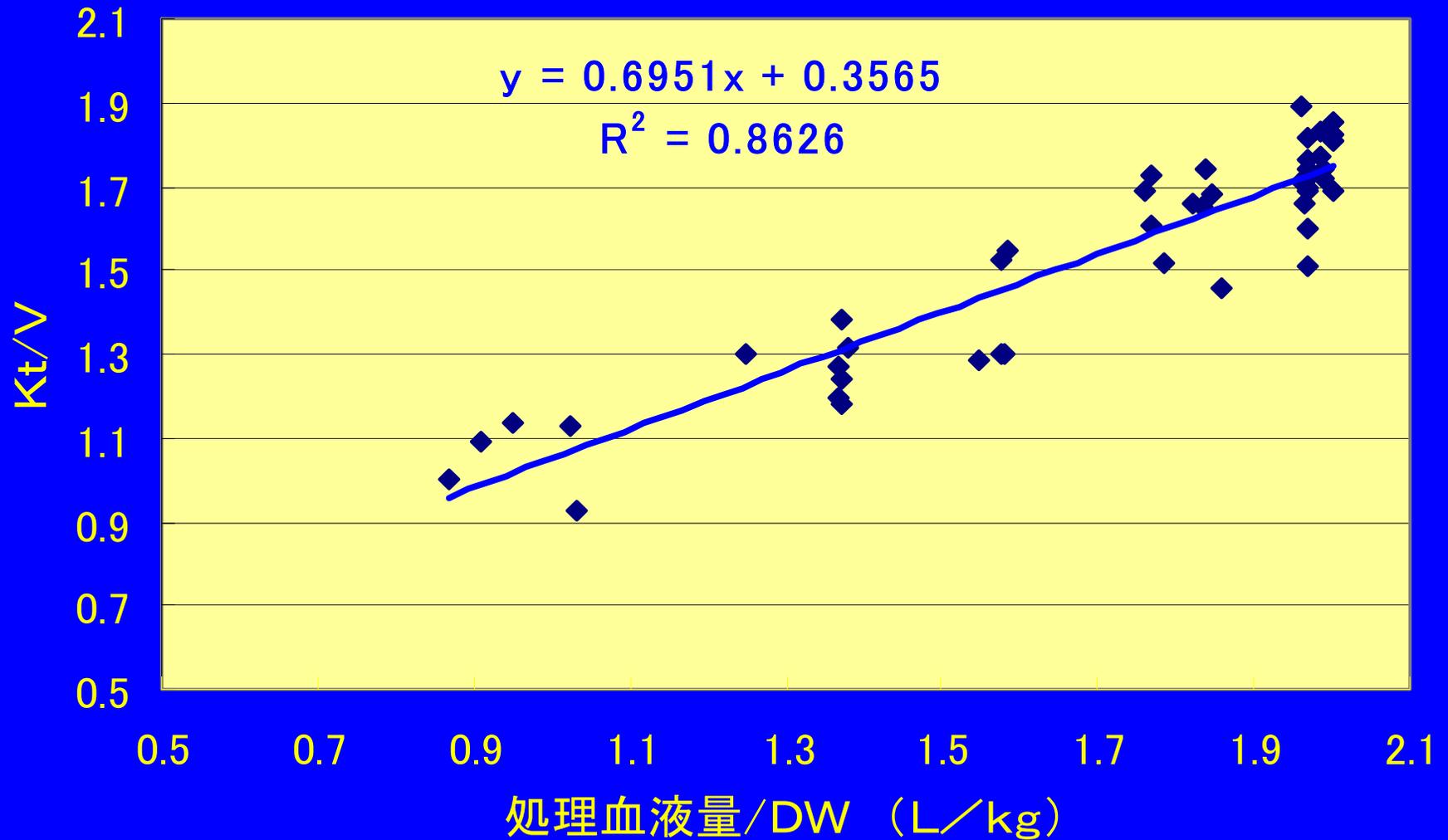
総血液量, 総希釈液量
(L),



Aさんのβ 2MG,BUN, Kt/V, 処理血液量/DWの推移



Aさんの 処理血液量/DW と Kt/Vの関係



まとめ

- ★ 前希釈HDFでは高効率の透析が施行できる。
- ★ 効率を上げるためには体重の1.5倍程度の血液を処理する必要が有る。
- ★ 血流量を上げられない場合には、後希釈HDFを選択する。